



UMEX 夢っくす ニュース

# かわらばん

新年会に参加して

田村 朱美

1月19日（日）に開かれた夢っくすの新年会に初めて参加してきました。会場にはお国自慢の美味しそうなお馳走がたくさん並べられていました。

今回はお箏と尺八の先生をされているご夫妻とのお弟子さんの中沢さん、篠田さんと私の5人で着物を着て三曲披露しました。1曲目の「花筏」は桜の花びらが川面に流れて筏のよう



学生に箏の弾き方を教えている田村さん

に見える様子を曲にしたものです。2曲目のジブリ作品の主題歌「君をのせて～天空の城ラピュタ～」は一般的なお箏と低音域を担当する十七絃、それと尺八の三楽器の素晴らしい音色を聞くことができました。3曲目はご夫妻で「春の海」を演奏されました。この曲はお正月をイメージする代表的な曲として知られています。演奏に先立ちまして中沢さんからフランス語で楽器と曲の説明をしていただきました。

演奏後は新年会に参加された皆さまが実際にお箏を弾いたりして初めての感触を楽しんでいただきました。今後も機会がありましたら是非お箏の音色を楽しんで頂きたいと思いました。演奏終了後は、お国自慢のご馳走をたくさん頂いて会を終了しました。



ホームページもご覧ください  
<https://www.umex.ne.jp/>



## クリスマスパーティー

角屋 志津子

12月21日（土）に国際大学のスナックラウンジで行われたクリスマスパーティーに参加してきました。

昨年まで私はキッズ担当の運営委員で、コロナ禍前は毎年クリスマスパーティーを計画してたくさんの方に参加して頂いておりましたが、昨年の総会でキッズ担当を平野浩子さんに引き継ぎ、今回はアシスタントとして参加いたしました。



今回のクリスマスパーティーは、キッズサロンに限定せず日本語サロンの運営委員を担当している篠田さんと共同で企画して、たくさんの学生さんとファミリーに参加して頂きました。ご準備頂いた平野さんと篠田さん、大変ありがとうございました。今回はクリスマスリース作りと子どもたちへのプレゼント配りを行いました。皆さんは思い思いのクリスマスコスチュームに身を纏い、真剣にそして楽しそうにクリスマスリースを作っており、それぞれ素敵なクリスマスリースに仕上がっていました。皆さんのセンスに私はいつも脱帽です。皆さんは作ったクリスマスリースをお部屋に飾り、きっと楽しいクリスマスの夜を過ごされたのではないのでしょうか。クリスマスプレゼントも皆さんよりご協力頂き、多くのプレゼントが集まりました。そんなプレゼントに子供たちはとても大喜び！ みんな良い子に整列順番を

守って、プレゼントを受け取っていました。楽しい時間はあっという間で、最後に記念撮影を行い、皆さん笑顔で帰られました。

私自身、久しぶりのクリスマスイベントの参加でしたが、やっぱり皆さんが笑顔を見るととても嬉しく幸せな気分になります。今後も機会あればいろんなイベントの参加したり、私自身も学生が喜んでいただけるようなイベントを計画したいと思います。その時は皆さんのご協力を頂くこともあるかもしれませんが、どうぞよろしくお願いいたします。



3月8日（土）にまだ雪が多く残る国際大学のスナックラウンジで毎年恒例の太巻き作りを行いました。参加された学生さんは20名ほどでしたが、開始と共にとたくさんの学生さんが集まり、皆さん太巻き作りをとても楽しみにしておられたようです。ほとんどの学生さんは初めて太巻きを作る方でしたが、講師の千喜良たまき先生より丁寧にわかりやすく作り方や巻き方に加え、太巻きに使う材料の説明も詳しく教えていただきました。先生が作られた後に続き、皆さん同じように作るのですが、初めて作ったとは思えないほど、崩れることなく上手に太巻きを作っておられ、とても感心いたします。太巻きの他

## 太巻き作り

角屋 志津子



にも裏巻きの作り方も説明していただき一緒に作ります。裏巻きは彩がとても良く仕上がるので、出来上がった瞬間と裏巻きを切った断面をみて、学生さんはとても大喜び！ その場で皆さん頬張って食べられており、あちこちで「美味しい！」の聲が響き渡りました。私自身も裏巻きを作らせていただき、とても美味しくいただきました。

今回、太巻き作りの計画と当日の運営について、たくさんの方よりご協力をいただき、無事開催することができました。今後も微力ながら学生さんに喜んでいただけるような企画を計画してまいります。その際は、また皆さんのお力添えをいただくこともありますが、どうぞよろしくお願いいたします。

第124号

## IUJ Ski Day に参加して

今井 雄一



当日になって、担当に連絡して許可をもらい、急遽参加させてもらった恒例のスキーデー。9時に到着し、ウィンターハウス裏に行くと既にレッスンが始まっているではないか。参加者数なんと160人とか。“Anybody who needs my help?”と聞くとあちからもこっちからも“Yes”と手が上がる。みんなイキイキとして楽しそうだ。緩やかな斜面を一緒に歩いて登り、ストックで支えながらバックブルークで一緒に降りる相手を変えて繰り返した。

英会話でaccuracyとfluencyが大切なようにスキーでも基本をしっかりと学びながら滑走距離を伸ばして慣れることが上達への近道だ。そのためには早い段階でリフトを使うことが必要になる。が、そのタイミングを見極めることは本人にはできない。そして

下まで連れて降りる人が必要だ。そんな思いで2時間後に一人ずつつれて上がって支えながら降りた。ランチタイムはショータイムにとばかりComai先生とシンクロスキーをし、皆さんから見てもらうことにした。



楽しかった。アッ、自分が楽しむことが目的ではなかった。ただ、いつもと違う解放感に満ちあふれたとびっきりの笑顔がこの日のご褒美だった。

IUJ Ski Day は1月25日（土）に八海山麓スキー場にて行われました。

写真提供：国際大学



## ♡バレンタインパーティー♡

佐々木 絵美

2月11日（火）にバレンタインパーティーを行いました。大変な大雪でしたが、学生11名、会員6名、計17名の参加でした。今回は「手軽に簡単に！」というコンセプトのもと、クレープパーティーにしました。

パーティーでは「クレープがもちもちでおいしかった。」という声や「バレンタインは誰かにチョコあげる？」とバレンタインならではの女子トークも盛り上がりました。

高橋会長の手作りりんごの砂糖煮とナブルもふるまわれ、クレープから果物があふれ



るほど、フルーツたっぷりのクレープになりました。用具を準備していただいた学生さん、食材提供にご協力いただいた会員の皆様、本当にありがとうございました。いつも学生さんと会員の皆様に助けられております。感謝申し上げます。

さて、サロンは火曜日と土曜日の13～15時です。日本に興味のある学生さんばかりです。気軽におしゃべりいかがですか？

みなさんのお越しをお待ちしております！



## 十日町雪まつり

## 高橋 和子

2月15日(土)と16日(日)に第76回十日町雪まつりが行われ、ミャンマーの学生と会員の篠田さんに行ってきました。

今年は近年にはなく雪が多く、開催される前までは連日の豪雪で、雪像づくりはどうなるのだろうかと心配でした。ところが、私たちが行った15日は、久しぶりの快晴となり、気温も10℃と作品を鑑賞してまわるには、最高の日となりました。ただ、急な気温の上昇で溶け始める雪像などもあり、製作者の方々はさぞ大変な年だった事と思います。雪像はどれも力作ぞろいで、素晴らしかったです。

雪像の周辺では、無料の甘酒や餅の振る舞いなどもあり、一日楽しめます。夜は7時から花火が打ち上げられ、澄んだ冬の夜空に大輪の花火が映えてとても美しかったです。夜のメイン会場では他の国際大学の学生とも遭遇し、皆さんそれぞれ雪国の祭りを楽しんでいるようでした。



雪まつりには、これとは別に会員の高橋勇さんとベトナム出身のハナさんが行きましたが、この学生さんから以下の感想が寄せられました。

十日町雪まつりは1950年から毎年2月に開催されており、厳しい冬と戦うのではなく、それを受け入れ楽しむためのイベントです。「雪と戦うのではなく、友達になった方がいいのでは？」これが十日町の人々の精神なのかもしれません。私は友人2人と国際大学を出発し、初めて雪まつりを訪れることにワクワクしていました。

十日町に住んでいる友人が車で案内してくれたおかげで、移動がとても快適で楽しい旅になりました。



会場に到着すると巨大な雪像のスケールと精巧なディテールに圧倒されました。『千と千尋の神隠し』の湯婆婆(湯婆婆、母の手の中で眠る赤ちゃん…どれも今にも動き出しそうなほどリアルでした。しかし、最も印象に残ったのは\*\*「ヤマタノオロチ」(八岐大蛇)\*\*の雪像でした。これは『古事記』や『日本書紀』に登場する伝説で、須佐之男命(スサノオ)が大蛇オロチに酒を飲ませて酔わせ、隙を見て頭を一つずつ斬り落とすという物語です。その雪像の前に立つと、まるで神話の世界が目の前で再現されているかのようでした。実は、この伝説を知ったのもこの日が初めてで、とても興味深く感じました。

雪まつりは雪像だけではなく、たくさんの忘れられない体験がありました。私は巨大なバルーンの上に座って雪の上を滑るスノースライダーを試してみました。最初はちょっと怖かったですが、すぐに慣れて楽しくなりました。温かいうどんを食べ、その深い味わいが寒さを和らげてくれました。また、縄文時代(縄文)の家に入り、地元の人々とお話する機会もありました。みんなとても優しく温かい人たちでした。でも、一番感動したのは夜の花火でした。凍えるような寒さの中、雪景色を照らす色とりどりの花火が空に広がり、幻想的で美しい光景が広がりました。冬の花火を見るのは初めてで、一生忘れられない思い出になりました。十日町雪まつりは単なるイベントではなく、人と自然、現在と神話、そして友人同士の絆を深める特別な冬の旅でした。

UMEX うおぬま国際交流協会

UONUMA Association for Multicultural EXchange



## 会員更新のお願い

令和7年度の会員更新をお願い致します。会費の振り込み先は以下となっております。入金された際には、いつ頃振り込まれたかお知らせください。

年会費

個人会員：3,000円

家族会員：1,500円

団体会員：1口 10,000円から任意の口数

郵便口座

口座番号：00550-7-74672

口座名称：うおぬま国際交流協会

新規入会も随時受け付けています。入会をご希望される方がありましたら、入会の申込書を夢っくすのホームページから入手して、必要事項をご記載のうえ、夢っくすのメールアドレス宛に添付でお送り頂くようお願いいたします。

発行元：

うおぬま国際交流協会(通称：夢っくす)

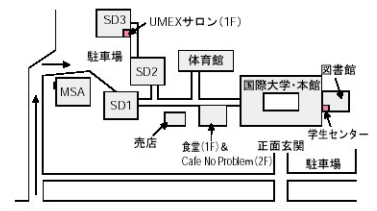
E-Mail: office@umex.ne.jp

URL: <https://www.umex.ne.jp/>

活動拠点：

夢っくすサロン(国際大学 第3学生寮1階)

右の地図に場所が示されています。



### 担当者連絡先

高橋 和子(会長)：070-5083-3123

### 【編集後記】

学生さんとの交流がありましたら、その時の感想なりをお寄せください。来月はお花見ツアーを予定しており、その後も少しずつイベントを企画しますので、是非ご参加ください。(toshi)